

4 歳未満の子どもを対象とした内部被ばく検査について

1 検査対象者

- ・平成 25 年 4 月 1 日以前に出生し、検査日時時点で 4 歳未満の子ども。
- ・背筋が伸びた状態で一人座りができること

2 測定方法

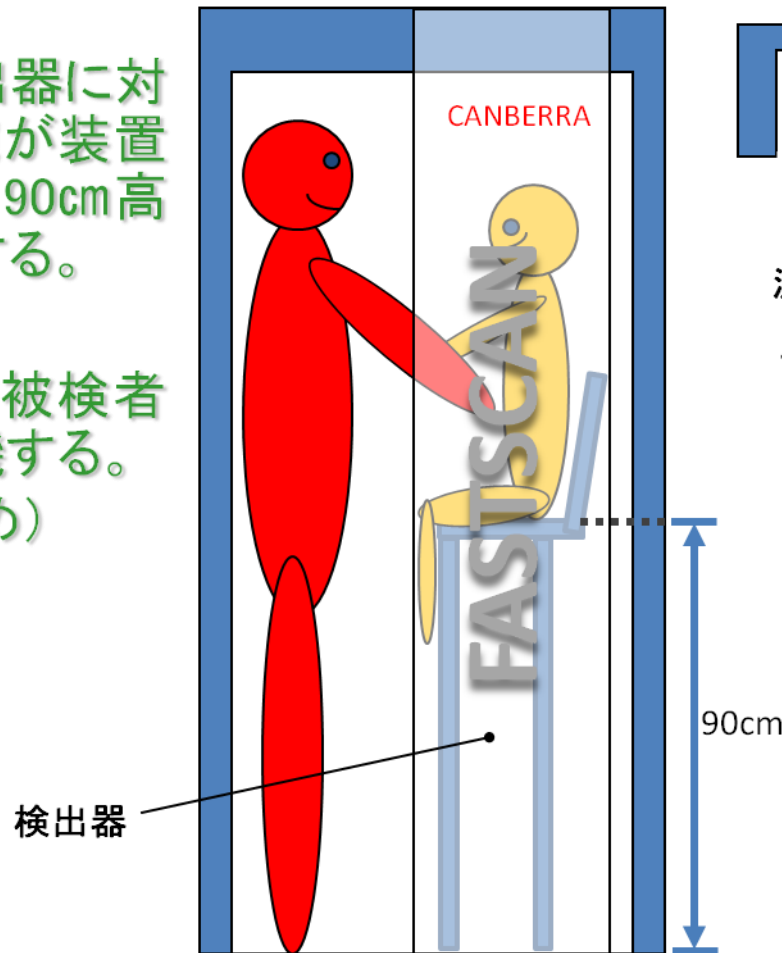
- ・被検者は、床面から 90cm 高の台座（イス）上に検出器（装置前部の柱状の筐体に収納）に対して右に横向き、右腕が装置内壁にはほぼ接した状態で着座し、2 分間測定する。
- ・被検者の安全・安心確保のため、測定中は必ず保護者等が測定補助者として装置近傍に待機する。待機位置は検出器の測定視野外（検出器の横又は装置入口付近）とするが、被検者に手を添える程度であれば測定結果に影響はない。（次ページ「4 歳未満児測定時の配置」参照）
- ・測定時の被検者の服装は原則おむつ又はパンツのみとする。衣服等に放射性物質が付着していないかを確認する体表面サーベイは原則不要とする。測定補助者についてはジャンパー・コート類のみ脱衣する。
- * 上記の方法は、当日の被検者の体調や機嫌により変更することがある。特に 2 分間の台座（イス）への着座が困難な場合は、検査を中止する可能性がある。

3 測定値と体内放射エネルギーの差異

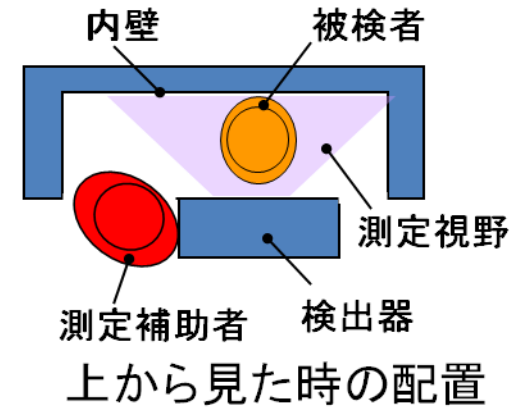
- ・測定で放射性セシウムが検出された場合、評価された値は実際の体内放射エネルギーよりも最大で 2 倍程度高めとなる可能性がある。

4歳未満児測定時の配置

- 被検者(子ども)は検出器に対して右に横向き、右腕が装置内壁に接した状態で、90cm高の台座(イス)に着座する。
- 測定補助者(親等)は被検者(子ども)の近傍で待機する。(安全・安心確保のため)



正面から見た時の
測定時のイメージ



測定の例